みしま市民新聞
編集人　堀　考信
三島市徳倉８１３−３
サンヴェール三島５０６号
TEL&FAX　055-988-1926
Mail:wsigdx@mail.goo.ne.jp
URL: http://msmcit.ddo.jp/yh/
発行部数：１５００部

陶
ちゃわんや
新・古美術
炉端庵
TEL:055-972-4213
携帯 080-6960-5200

三島駅南口再開発構想と現状

十余年の経過の後、構想変更し動き出す。

三島駅南口再開発事業の取り組みは、昭和六十二年頃より始まった。平成二年頃まで各種調査が行われ、平成五年に推進協議会が設立された。平成九年、前石井市長時代には一定の構想や具体的検討が進められたが、その後、財源難等で今日まで凍結に近い状態が続いていた。しかし、三島駅北口開発が本格化し、このままでは南口が取り残されるという思いや、市側と地権者の合意が進む中で、当面、東街区域の再開発に向けた取り組みが具体化しそうな状況となった。

駅南口の再開発事業は、三島市の将来都市像を構想する上で、市民の期待と要望が強い。また、三島市としても、南口は県東部地域の玄関口、拠点都市に相応しい施設設備を整えたいとの意向である。

前石井市長時代の構想では、全体の事業規模は概算二五〇億円。駅の東、西側全体を再開発し、駅前道路（小山三軒家線）の拡幅により、四車線化等が考えられていた。しかし、その後、財源難や核となる施設や事業者の現われる目途が立たないまま、今日に至っている。

現在進めている、開発のこれまで地権者と話し合いを続けてきただのと平気で嘘を言う。また、訴訟に影響するので詳しいことは話せない。今、難解な多元連立方程式を解いている最中だと、まるで他人事のような無責任と試みていたのが実態である。

事の発端は、二年前の強制収用に関わる収用委員会での事、地権者は境界線確定を強く求めたにも係らず、一方的に打ち切り、県は開港を急ぐ余らと言い訳をしたが、これも嘘である。

そもそも、公共性も必要性も怪しい空港建設を、石川知事は土地の強制収用までしてここまで強引に推し進めてきた。

これまで何度も再検討しているにもかかわらず、工事を合体させている。

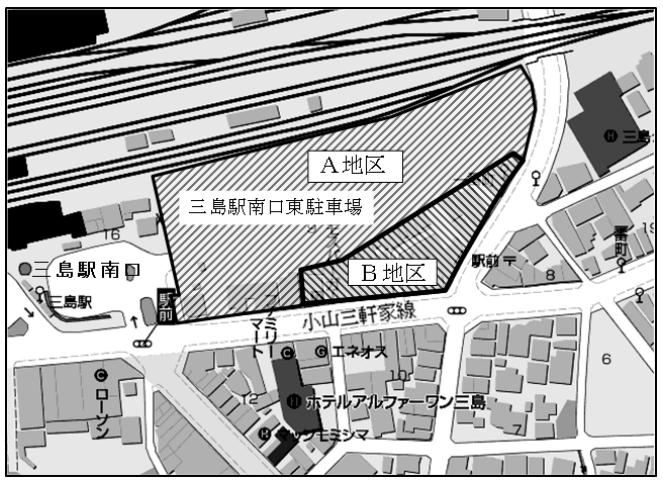
この手法について、「工事を合体させ、諸経費を削り工事費を安くする目的だが、積算基準にも抵触し、しかも業者泣かせだ」との声が市役所内部にもある。

また、安全費・交通整理人の人数を積算した単価表を求めたところ、工区別の区別が無く、ガードマンをどこの場所に何日、幾人配置するかの記述や図示も全く無いまま、「交通誘導員、六〇人」が提出された。

こんな杜撰な積算で、市民の尊い税金が使われていいだろうか。

この問題について、一ヶ月後までには一定の結論を出す予定。次号を期待頂きたい。

〈H〉



三島駅南口　東街区区域図

主張

空港開港がまた延期に追い込まれた。

これで三度目の開港延期だ。今回は滑走路西側制限表面に飛行機の離着陸に支障を来たす立木や土塁が取り残されたままの問題である。航空法では障害物件が除去されない限り空港の供用開始はできない。

九月十一日、事業認定取消訴訟の中で、県と国は正式にこの問題を認めた。三月開港に期待を寄せていた業者や空港関係者は寝耳に水の事態に大騒ぎとなっている。

しかし、質問を受けた石川知事は、この一年間で立木が成長しただの、極まりない態度で終始した。

地権者は一年半以上も前からこの問題を県に指摘していたが、県はそれを無視し続け、地すべり対策と称して、問題を隠したまま、あたり一帯を立木もろとも改変しようり、航空測量だけで済ませたことにある。

その結果、収用しなくてもよい茶畑を収用し、収用すべき立木等を取り残したというものだ。

石川知事は失態を隠す為、反対運動が激しくて実地測量出来なかったかの機会は有ったが、住民投票まで反故にしてその機会を自ら潰した。

需要予測も、当初一七八万人と言っていたものが、事業認定段階では一〇六万人。そして開港間際の現実は、最大見積もっても四〇万人程度だ。

市担当者の話では、今後、施設内容は地権者等を交え検討していくが、来年二月頃までに準備組合を立上げ、来年中に都市計画決定を行なう。平成二十二年五月頃に正式な事業組合を設立し、二十三年頃に工事着手を予定している。また、西街区も、多少遅れるが、基本的に東街区と連動して事業計画を推進していきたいとのこと。

三島市での組合施行の例は本町タワービルがある。その事業に対し、市は四階部分の買い取りも含め、支出はおおよそ六億円。また、マンション入居者による税収が毎年一億数千万円。五年で元が取り戻せたという。

一方、近隣、沼津市の駅南口再開発事業では、イーラデ・ビル建設は市施行で、七十三億円の借金。店舗への入居が埋まらず、まだ二割が回収できてないとのこと。

世界的な金融危機の中、今後、三島市の南口再開発事業がどのような進展を見せるか、特に大手のキーテナントの取り込みが出来るかが係っている。また、駅北口開発とも連動させ、集客力と南口活性化には駅南北自由通路は不可欠だ。

駅南北自由通路

南北自由通路は、市はこれまで橋上式、地下式の案で何回も検討してきた。しかし、JR側との協議の中で話は難航しているという。

橋上式については、JRの主張は新幹線の上をまたぐ構造物は地震の際、危険性が高く認められないとのこと。特に、阪神淡路大震災以降、新幹線をまたぐ構造物については、JRは大変神経質になっているという。

また、地下式についても地下部分には溶岩層が分布し、掘削等により地盤の緩み、変形等が生じる危険性があり、鉄道の重要施設への影響が避けられないとしてJRは拒んでいる。

三島市としては、南北自由通路は、県東部の拠点都市として周辺整備をする上で不可欠のもの。

市側の立場は「三島駅周辺整備と南北自由通路の整備は、永年に渡り市民要望の上位にあり、これまで行政課題になっていた。三島駅南北の都市機能を有機的に結び、駅利用者の利便性の向上と南北地域の交流と回遊性、安全でスムーズな通勤・通学ルートの確保等、南北に渡る経済波及効果が見込まれ、駅周辺のにぎわいの創出と地域活性化が図られる」としている。

市が示した資料から、工区別の工期、工事費合は次の通り。

工区　工期　工事費率
第一　５６日　６２％
第二　２８日　１０％
第三　４９日　２８％

市の提出資料や今後求める追加資料などを基に、土木工事設計経験者や、自治体職員ＯＢなどの協力を求め、読者の疑問に対する市の説明が、正しいのかを検証したい。

これまでの市からの資料から、いくつかの疑問が明らかになっている。

この工事は市道路線も地先（大宮町と文教町）も違い、距離が相当離れ

市道大宮町三丁目１号線外側溝改良工事

市道工事の工期は？（一）

市側の説明に疑問あり！

市の回答は、「第一工区（大宮町）、第二工区（大宮町と文教町の境）、第三工区（文教町）があり、第一・第二工区は既に完了している。第三工区は四十九日間設定し、工期内に完了し問題ない」また、工期と工費の関係は「高くなることは無い」とのこと。

開港延期と知事の無責任体質！

ずさんな事業推進　責任転嫁　赤字のつけは誰が払う！

直接的経費だけでも年間五億円の赤字が見込まれている。関連経費や建設費の借金返済、金利支払いなどを含めると二〇億を越える負担が予想されている。

需要拡大の宣伝・セールス費用だけでも、０８年度、八億円の出費を重ね、既に、県の預貯金である基金は底をついている状態だ。

乗り入れを表明している航空会社も、赤字が続けば早期撤退は目に見えている。

無駄な空港に巨額の公費を注ぎ込むことを一刻も早く取り止めないと、将来に多額の借金を残すことになる。

有象無象

▼九月に入っても焼けるような暑さが続いた。年毎に増していく猛暑の度合いに、これが温暖化のせいなら、地球は、あと五年はもたないだろうと、不安を覚えるほどの暑さだった。

▼それも十月に入ると、いつの間にか風は心地よく、秋空は安らぎのひと時を与えてくれる。郊外を散歩すると、田んぼの畔に残る赤い柿の実は郷愁を誘う。遠くの町並みが夕陽で染まり、風は肌寒さを感じさせ、西の空に一番星が輝き始める。

▼国語の教科書に出ていたギリシアの女流詩人サッポーの「夕づつ」という詩の一節がふと過ぎる。堀口大学の「夕暮れの時はよいとき」という詩もまた良い。

▼この歳になり抒情に浸る暇など殆ど無くなったが、晩秋の夕暮れは、しみじみと人を物思いに誘う。人間に限らず動物もそうなのか？一歳を過ぎた我が家の飼い猫もこの頃感情の起伏が激しい。

▼気分の乗らない時に手を出すと、目を吊り上げた不機嫌な顔付きは驚くばかりだ。それがたまに外に連れ出すと、目を丸くして、あたりのものに興味津々、手当たり次第に匂いを嗅ぎ、芝生の中でバッタを追い掛け回す。

▼今日も、猫がニャーニャーと鳴く。外に出せとしつこく鳴く。マンションでの飼育はご法度。こっそり部屋に閉じ込め飼っているが、たまに外に出さないと、部屋中爪を立てイライラするらしい。

▼猫も夕陽を眺めて物思いにひたっている。別れた親・兄弟を思い出しているのか？断種手術をしたオカマ猫のため、極めて臆病で、外で遊んでいても、大きな物音や他人が近づくと、身をひるがえしてサッと家の中に飛び帰る。

「猫の身で
なにを思うぞ秋の空」

シザーカット専門店
びようしつ　みゆき
営業時間：9:00~18:00
定休日：水・第三日曜日
〒411-0833
三島市中１２３−１２
TEL:055-972-6808

フリー・マーケット
毎月　第1、第3土曜日
10:00~15:00頃まで
新鮮野菜、干物、
衣類…etc
低価格で提供、
価格応談
徳倉2丁目2−30
連絡先：988−1651
上岩崎公園駐車場
フリーマーケット会場

カジュアルファッション
アメリカ屋
ボーイズ・レディーズ
大社前西角　電話:975-2885

軽食&喫茶（11:30~14:30）
スナック（18:00~23:00）
レインボー
三島田町駅前
(昼) 定食８００円、珈琲付き
レインボーカレー７００円
焼きそば５００円
トースト・サラダ・珈琲６００円
電話：055-972-0005

ビーズジュエリー制作・販売
Beads Branch375
お手持ちの服に合わせて
あなただけのアクセサリーを作りませんか？
〒411-0044
三島市徳倉８７６−６４
Tel&Fax:055-988-1691　内田まで
お気軽にお電話ください